

令和8年度 入学式

日時： 令和8年4月7日（火） 14:00～15:00（学級活動 15:15 ～ ＊記念写真撮影）

場所： 袋井南中学校体育館

式次第： <入学生事前指導> ＊保護者・来賓入場完了

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 開式の辞 | 2 国歌斉唱 |
| 3 入学生呼名 | 4 校長式辞 |
| 5 来賓祝辞 | 6 来賓紹介 |
| 7 祝電披露 | |
| 8 教科書授与 | 〔中島 千嘉さん：高南小〕 |
| 9 入学生代表誓いの言葉 | 〔伊藤新之助さん：南 小〕 |
| 10 閉式の辞 | |



＊職員紹介：1年生職員発表

【校長式辞 中村佳央校長先生】

創立52年目を迎える袋井南中学校、166名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。名前を呼ばれたときの、あのまっすぐな返事。その一つ一つに、「南中で頑張るぞ」という確かな決意を感じ、たいへん頼もしく思いました。

これからの3年間を過ごすにあたり、大切にしてほしいことを一つ伝えます。それは、「自分を知る」ということです。中学校の3年間は、人生の中でも、自分が大きく変わる時です。多くの人と出会い、心が動き、迷い、時に立ち止まりながら、少しずつ自分という存在が形づくられていきます。その過程で、皆さんはきっと、これまで知らなかった自分に出会うでしょう。

『できなかったことができるようになる自分』『思いがけない場面で力を発揮する自分』そして、ときには、『思うようにいかず、悩む自分』。そのすべてが、皆さんをつくっていきます。だからこそ、うまくいくときも、そうでないときも、どうか「ありのまま」の自分から目をそらさないでください。その積み重ねが「自分を知る」ということにつながっていきます。

袋井南中には、その歩みを支える環境があります。先輩たちは、自分らしさを大切にしながら、日々を前向きに過ごしています。先生方は、一人ひとりに寄り添い、皆さんの可能性を引き出します。地域の方々も、皆さんの成長を温かく見守ってくださいます。だからこそ、どうか恐れず、一步を踏み出してください。とりあえず「やってみよう」。踏み出したその半歩、その一步が、積み重なって皆さんの未来をつくります。

その歩みの先にあるのが、本校が大切にしている「ウェルビーイング」という考え方です。袋井南中は、皆さん自身の言葉や行動で、自分自身はもちろん、自分以外の他者や家族、そして自分が住んでいる地域や社会にも幸せを与えられる人になる。これが、袋井南中が目指している生徒の姿です。今、袋井南中は、「ウェルビーイング」が溢れる学校になりつつあります。その実現のために「やってみよう」「なんとかなる」「ありのまま」「ありがとう」、この4つの言葉を胸に、自分を大切にしながら、周りの人も大切にできる、そんな毎日を積み重ねていってください。その先に、皆さん自身の「ウェルビーイング」があります。（中略）

まだ見ぬ可能性が、静かに、確かに息づいています。その可能性は、誰かに与えられるものではなく、これからの歩みの中で、自分で見つけ、育てていくものです。焦らなくていい。比べなくていい。大切なのは、自分の歩幅で、自分の道を進むこと。今日という日の決意を胸に、自分自身の未来を、一步一步、丁寧に積み重ねていってください。

【来賓祝辞 袋井市副市長 大河原幸夫様】

入学おめでとうございます。

中学校生活、期待と希望を胸に今日の日を迎えたことでしょう。中学校では専門的な学びをすることができます。そして、自ら主体的に活動することが求められます。デジタル化・情報化の世界、AIが人の能力を超える時代を迎えます。そのような世界の中で「逞しく生きる力を育むため」に、挑戦すること、自分で考えることを大切にしてください。試行錯誤を繰り返し、自分で答えを見付けることができるよう、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

【来賓祝辞 PTA代表 窪野良則様】

私自身、35年前にここで入学式に参加した緊張感を懐かしく思い出しています。中学校3年間は勉強、スポーツをはじめ、何事にもチャレンジしてください。結果にこだわることはありません。経験したことは自分の力になります。

人の痛みが分かる、思いやりの心で人に接する土台を作ってください。嬉しいこと・悔しいこと・辛抱すること、様々なできごと、たくさんの経験を通してすばらしい人に成長してください。

